



TANEBI STORY

11時～

ご挨拶
みいちゃんの今後
株式会社TANEBI 事業説明

ハンデある若者を第3の就労の道へ
支援される側で終わらない

～ジュニア社長100名の新たな雇用を作る～

みいちゃんの「教えない教室」 デモ体験

12時半～

質疑応答

みいちゃんの今後

みいちゃん 12歳
2020年1月OPEN



みいちゃん 18歳

2026年3月卒業



Mizuki





Mizuki



今日 伝えたい事

学校は行けなくてもいい

世の中の常識は意識しなくていい

大人の言う事は聞かなくてもいい

ワクワクする事を探す事

選択肢を2つ以上持つこと
(セカンドキャリア)

第1ステップ

選択肢を2つ以上持つこと (セカンドキャリア)

いま持っている力を、別の場所で
もう一度花咲かせる生き方

「自分にはまだ使っていない宝物がある」
と気づかせること。

みいちゃんは典型的な セカンドキャリアの象徴

- ① 気づく(自分の中にまだ見えていない力がある)
- ② 試す(別の場所で力を使ってみる)
- ③ 役割を持つ(力を誰かのために使う)

得意な事を探す事ではない

家庭環境で実行する事の困難さ

- ① 気づく(自分の中にまだ見えていない力がある)
- ② 試す(別の場所で力を使ってみる)
- ③ 役割を持つ(力を誰かのために使う)



親子関係を人と人の関係になる

第2ステップ

目の前の事でなく
将来の自分(わが子)を
想像する事

仕事をして
お給料をもらっている
自分(わが子)を想像する事

「働く」という事を
早くから意識する



趣味を超え
セカンドキャリアになる

私の振り返り

どうやって
社会参画させれば
いいのか

動けない



やりたい事がみつからない



見つけられる環境を作る



計る 混ぜる 蒸す



発想が芽生える
～自分で考える～



自分で作ったお菓子を売りたい





資金・資格・スキル

必要

資金

プロジェクト

活動レポート 25

応援コメント 132

♡ 177



① 応援購入総額

Success!

2,476,000円

目標金額 1,000,000円

247%

② サポーター

297人

③ 残り

終了

終了しました



障害があっても関係ない！小6の人気パティシエみいちゃんの夢、菓子工房を開きたい！

#社会貢献 #子ども #フード #スイーツ #

クラファンで資金集め

資格



資格



製造場所を作る

スキル



独学

スキル



母が通学

The background of the image is white, decorated with several semi-transparent green circles and dots of varying sizes. Some circles are large and overlap, while others are small and isolated. The text is centered horizontally and vertically.

「きっとできる」

資金・資格・スキル

不要



—会社名—

株式会社TANEBI

代表者 杉之原 千里

—所在地—

〒523-0015 滋賀県近江八幡市上田町1257番地18

—事業内容—

教育・雇用・福祉・文化を横断する「プロデュース業」
～生き甲斐をデザインする会社～

—主要ブランド—

- ・みいちゃんのお菓子工房
- ・TANEBI STORY
- ・教えない教室

(社名)TANEBI(種火)への想い

- ・始まり・きっかけ

火を起こす最初の火 何かが生まれる直前

- ・小さいけれど、消えたら終わる

か弱い、繊細 大切に育てる必要がある

- ・文化やムーブメントの源

キャンプの焚火の最初の火

- ・火種＝可能性の塊

まだ小さいのに、大きな炎に化ける潜在力



TANEBI STORY



～生き甲斐をデザインする会社～

弱さを持つ人が“価値提供者”に進化する
社会変容型プラットフォーム



TANEBI STORY コミュニティ

親と子が同時に学び合う場
友達を作る場
自分の役割を見つける場
仕事をする場

生き甲斐デザインー



ジュニア起業家の育成

一人ひとりの生き甲斐が
社会に枝を広げ
自然に育っていく

TANEBIは、みんなの踏み台でありたい

みいちゃんから広がる 新しい未来のかたち



見えない
聞こえない
話せない

ないことが あることへ
感じることから始まる



Mizuki

●えない教室



見えない
聞こえない
話せない



ないことがあることへ
感じることから始まる



●●えんい教室

① 視覚の遮断

視覚を奪うと、人は本能的に・**触覚・嗅覚・聴覚・身体感覚**を総動員しようとする。

これは“できない”のではなく

「別の入り口から世界を感じにいく能力が発動する」という現象

多くの大人はできないことが増えると「自分(わが子)はダメだ」と解釈する。でも、本当は**“眠っている感覚”が動き出している**だけ。

② 視覚が強すぎる社会

生きづらさ＝劣っているのではなく、“感度が高い証拠”

視覚が強すぎる社会で生きると

「見た目の成功」「正解の早押し」ばかりが評価される。

でも、目を閉じてクッキーを触る時、触って、聞いて、匂いを感じて、微細な差異をキャッチする。これは弱さではなく 才能。

あなた(わが子)がつまずいてきた場所は、才能の入口。

③「無理に整えない世界」の中で、人は初めて自由^{自由}に動ける

みいちゃんの教室は、正解を教えない・手助けしない・揃えようとしない。だから参加者は「自分のやり方で動く^{動く}」という体験を得る。

これは、普段の学校や支援では得られない

“自分という軸^軸”を取り戻す工程。

④完璧より、**感覚が動いた瞬間**のほうが価値がある

クッキーの形が歪んでいてもいいんです。
それこそ価値だからです。

理由は2つ

- ・失敗を通じて生まれた気づき”は、成功より深く残るから。
- ・形よりも、**心が動いた経験のほうが未来の行動を変える**から。

今日上手くできたことより、心が動いた瞬間を大切にしてほしい。

“できない”のではなく、まだ社会が「生きずらい若者」たちの感性の使い方を理解していないだけ。

みいちゃんは“できない”のではなく
自分が持っている感性の使い方を理解し、そのような環境があっただけ

親子のマインド転換が必要



2026年 一期生 開講

① 役割を持てる

不登校・障がい・生きづらさ抱える若者

“支援される側”と見られてきた若者

「できない」「自信がない」で止まっていた親子

→ “役割を持つ当事者”に変わる

福祉と教育を超える第3の居場所

ジュニア起業家のブランド提供(認定制)



TANEBI STORY



みいちゃんのお菓子工房

自分のお店をOPENした後、持続させるためのバックアップ
SNS発信の協力など

ブランド認定については1期終了後のステップにて(別料金)

- ①1年間の伴走(月会費 1万円/1組)税抜
- ②毎月1回 オンラインにて講義(アーカイブあり)
- ③みいちゃんのお菓子工房の開放
- ④コミュニティ参加 質問随時可
- ⑤みいちゃんのイベント助手
- ⑥みいちゃん親子とのランチ会・交流会開催
- ⑦みんなで自分たちの仕事を作る
- ⑧親も新しい仲間、別の役割を見つける
- ⑨一緒に作っていく(ワクワクな環境)
- ⑩チームプレイ エリアプレイ

coloridohの特徴

参考価格：

coloridohクッキー生地 6色セット（4～6人分）

¥3,520 税込

安心・安全

- グルテンフリー
- アレルギー指定28品目不使用
- ヴィーガン対応
- 白砂糖不使用
- 保存料不使用
- 合成着色料不使用

簡単

- 生地の状態なので計量不要。すぐに遊べる
- 準備、後片付けが簡単
- 常温6ヶ月保存ができるので、保管がラク！

楽しい

- 色と味は無限大に作れる
- 6色、6つの味や匂いが楽しめる
- カラフルだから、好きなものが作れる

青/ブルーベリー味 黄/バナナ味
白/レモン味 緑/メロン味
赤/ストロベリー味 茶/ココア味

国際特許出願中

